

会員数(54・3現在)

逗子地区 127名

葉山地区 203名

大船地区 67名

合計 397名

# 吟道月報

認可  
会  
員  
会  
社  
法  
人  
神奈川  
学院  
詩吟  
会  
社

54・3月

第80号

発行者

根岸岳萃

編集 村愛風

中 秋 元 梁

想

い

出

の

詩

吟

堀内支部

杉

山

雪

風

霜は軍営に満ちて秋気清レ数行  
の過雁月三更。静岡県特産の新茶  
の香りがむせかえるよふな四月下  
旬の頃だったと思つたのですが……

藁布団の上に薄い敷布団を重ね  
た土臭い夜着の中でヒヤヒヤした  
私は詩吟の声で目を覚ましたので  
す。家の者はもう誰もいないので

すが軒下には摘みとられた新茶の  
葉が柔かそうな薄赤色をわずかに  
残した朝露を言んでキラキラと輝

き庭の上に広げられておりました  
この時季には何処の家々でも朝早  
くから茶畑に出て働いているので

す。静かな朝です  
越山併せ得たり能州の景遷暮家  
郷遠征を憶う。庭から二〇米も行

きますと小川があるのですが水が清  
く雨上りで水のにごった日など小鮒  
や蟹がよくとれたものです。夏にな  
りますとこの小川で泳ぐのですが水  
が冷たかったのが思い出されます。

吟はこの小川の土手から聞えてくる  
のです。高くそして低く……  
当時陸軍の騎兵伍長でした長身の

叔父が軍服姿に長い「サヘル」をつけ  
茶色の長靴を履いた足を半ば開き力  
一杯吟じているのです。私は夢中で

叔父の立つ土手に走っていったので  
す。そして大きな声でシモツゲンエ  
イニとやっただけです。どうして農家

にとって厄しい時季に朝早く吟じて  
いたのか分りませんがその時祖母が  
夜なべに作った薬ぞつりをつっかけ

ていた私の足が朝露に濡れて冷たかった事が  
今でもはっきり覚えてゐるのが不思議です。  
幼い時に父を亡くした私はこの詩吟の好きな  
叔父が一番恐い人であり好きな人でもありま  
した。

その叔父も二十五年前、四十九才という若  
さで逝ってしまいました。どこが哀愁をおび  
た々々高い声で九月十三夜陣中の作を力一杯  
吟じておりました叔父の姿は故郷の山々小川  
と共に私の忘れぬ事のできない思い出です。  
そんな想い出等を胸に、それから命ある限  
り吟じてゆきたいと思っております。

吟声の如く聞えレタ暮の

鐘の遠音に耳をすませし 雪風

年間会計報告は従来は例年日迄の分を毎  
年二月号月報に記載してきましたが、昨年の  
会則改正に伴い本年から三月を決算の月と定  
められました。従って会計報告は五十三年以  
り五十四年分日迄の分を四月号月報に掲載し  
ますので御了承下さい。

会計部長

頌心会 54年初吟会 会計報告 (収入の部) (支出の部)

摘要	金額	備考	摘要	金額	備考
会費 197名	492.500	2500×197	ビニール紙支払	422.250	197名分、を合
金一封	45.500	23名 1支部	清酒、ビール、酒	43.000	
会本部補助	8.843		つまみ及みかん	71.700	
計	546.843		景品	2.989	
			準備委員会会場費及茶菓代	2.000	
			消耗品費	1.764	
			通信費	140	
			招待の先生に車代	3.000	
			計	546.843	

御寄附下さった方の御名前下記の通り

小林紫舟先生	小峰桜岳先生	松野春風先生
石渡岳通	加藤冽風	杉山雪風
根岸岳幸	中村幸風	石渡桂風
加藤季岳	竹石憲風	広瀬翔風
三井雲岳	千葉香風	金指蔭山
沼田光岳	千葉香風	吟甫支部
下条亮岳	中村愛風	桜山A支部
蒲谷蒼岳	鈴木萃風	近藤青山祥景
井沢潮岳	森田曉風	

以上の通り報告致します

担当支部

戸塚 鈴木萃風  
大船A 岩崎利風  
桜山B 広瀬翔風  
上山口 福本洋泉

企画部長 加藤 冽風  
会計部長 千葉 香風

## 大山詣り

戸塚支部 鈴木萃風

広報部の方々の御努力により毎月の月報を  
楽しく読ませていただいておりますが、何か  
投稿しなければ申し訳ないと思ひ節分の日  
大山へ豆まきにお詣りしましたのでその拙文  
をお届けいたします。

横浜からわずか一時間、相模平野の奥にピ  
ラミッド形の姿を現す大山は雨降れとも呼ば  
れ、昔から信仰の山として親しまれてゐる所  
です。なぞか小さい頃より私はこの山に魅せ  
られております。へ兄が昔自転車で大山詣りを  
しお土産にコマ・太い鉛筆等を買ってきてく  
れた思い出があるからでしようか。

途中黍島等があり自然が豊富です、下社で  
芸能人（今年弁田山・三田恵子等）の豆まき  
が催され、小さな小豆袋の中に小判が入れて  
あり、それを拾うと色々な賞品が当たります。  
私もはじめは遠慮がちでしたがその中夢中に  
なり三枚も小判を拾って夫婦茶碗等よいお土

産が当り家内に喜ばれました。

久しぶりに山頂へ登ってみました。山頂近  
二十八丁あり独り吟をうなるのはかっこう  
の場所です。南州の、書懐、などを吟じなが  
ら私の今年の目標・幼稚園建設事業の無事完  
工を奥院へ祈願してきました。

### 碩心会常任理事会ひらかる

二月二十六日（月）なぎさ会館に於て行われ次の  
事項について討議決定されました。

◎ 県本部二十五周年大会合吟参加の件

人数：  
男：（兼山28）（逗子13）（大船9）|| 五十名  
女：（、）24（、）18（、）9 || 五十名

吟題：  
男：碩心会の詩……三井雲岳 他  
女：雨靈山……鈴木孝風 他

出吟料……  
五百円の中より三碩心会本部で負担しま  
すので各自二百五十円を納入

合同練習……六月中予定

◎ 右大会に高令会員申請の件

3/31日現在満八十文以上にして入会より

一年半以上経過したる者、大会当日表彰

当会該当者・岩見声山（一色C）

◎ 碩心会総務部・企画部に副部長設置の件

会長の任命により選出

◎ 碩心会理事増員の件

右の件承認され次号に役員一覧表を記載の予定、尚常任理事以外の指導者は所属支部の理事となる

◎ 碩心会本部費値上の件

従来三十円を六十円にアップ（県本部費四十円十碩心会本部費六十円）計百円を四月から納入すること

◎ 温習会の件

と き。六月十日（日）  
ところ。逗子図書館ホール

◎ 宗範展墓の件

十月初旬に実施

◎ 支部の認定について

会員十名以上のものを支部として認定

（新 入 員）

（逗子△支部） 常盤 久枝 逗子市小坪甲七一一

電 0467 1241 3118

（ ） 牛尾たか子 五十一九

（ ） 高橋 陽子 五十一七

（ ） 高橋 和代 五十九三

（ ） 安達 寿一 三四二

（ ） 鈴木三九男 横須賀市大滝町三十一

（ ） 横明より移籍 電 0463 1211 0440

（堀内支部） 角田すみ江 兼山町一色二三四六

電 0460 1751 1512

（大船巨支部） 今井 健介 横須市戸塚区矢部町七九一

電 045 881 4417

△△▽

30 鈴木政風 32 黒尾宗山 34 須藤敏山 37 小峯勝山 38 村上昂山

127 守谷経山 154 加藤聡泉 266 白見秋泉 293 浦成子 302 大面映子

303 山田良子 304 小畑洋子 305 石川十二 382 川島秀三 矢島秀彦